

だれもが いつでも 気軽に

スポーツを楽しめる生涯スポーツ社会の実現をめざす

- ◎ 地域体育振興会と総合型スポーツクラブの連携
- ◎ 高島市健康推進計画「健康たかしま21プラン」との連携
- ◎ スポーツ推進委員の健康スポーツ啓発活動
- ◎ 子どもの体力向上
- ◎ 障がい者スポーツの理解を深める啓発の促進
- ◎ 成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率の目標設定（平成29年度50%、平成34年度65%）

◎ 推進の方策

- ◎ 基本方針とその方向性
- ◎ スポーツをすること、それによって健康になることに重点をおいて、市民一人ひとりが目的意識をもってスポーツに取り組める環境づくりを進めます。
- ◎ 生活習慣病の発症予防など、市民の健康増進や医療費抑制のため、運動習慣づくりを推進します。

◎ 現在の主な取り組み

- ◎ スポーツ推進委員会主催のウオーキング事業の定期的な開催
- ◎ スポーツ大学が実施するキッズプログラムへの協力
- ◎ 知的障がい者が参加するスペシャルオリンピックスへの協力

◎ 現在の主な取り組み

平成25年7月に作成した高島市スポーツ推進計画を紹介します。この計画は、大きく分けて6項目あります。今回はそのうちの二つ「健康スポーツ推進」について紹介します。

高島市スポーツ推進計画の紹介①

全国学力・学習状況調査から

4月22日（火）に、小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒を対象に、全国学力・学習状況調査を実施しました。

学力調査から、小学校においては、漢字を正しく書くことや言葉の意味をとらえることについては概ね良好でしたが、読み取ったことをもとに条件に合わせて書くことに課題がみられました。算数では、数と計算など基礎的な知識・技能については概ね良好でしたが、自分の考えを言葉や式を使って解答することに課題が見られました。中学校においては、国語、数学とも概ね良好で、特に数学の数と式、関数についての知識・技能については優れていました。

こうした結果をふまえ、各教科等の指導のねらいを明確にし、自分の考えを書く活動や学級やグループで話し合う活動を増やすなど言語活動を充実させる授業改善への取り組みをより強化しています。また、読む力を高めるため、読書活動を充実させます。さらに、今、子どもたちに求められている力をしっかりと見据え、学力向上の取り組みを一層推進していきます。

学習状況調査からは、小・中学校ともに今すんでいる地域の行事に参加している児童生徒が県や全国に比べ多いことから、児童生徒が地域社会との良好なつながりのもと、地域の人たちに見守られながら育っている様子がうかがえます。

各学校では、自校の学力・学習状況や学力向上策を学校だより等で伝えし、家庭とも連携した取り組みを進めています。家庭においても家庭学習や読書の習慣を身につけられるようご支援・ご協力をお願いします。

高島市教育委員会 第9回定例会報告 9月30日開催

- ◎ 議案
 - ・高島市立小学校統廃合準備委員会設置要綱案について
 - ・高島市立学校跡地利用検討委員会設置要綱案について
- ◎ 協議・報告事項
 - ・平成26年9月高島市議会定例会一般質問の概要報告
 - ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正について
 - ・学校規模適正化における今後のスケジュールについて
 - ・市内中学校生徒の転落事案にかかる対応について
 - ・高島市立図書館のシステム更新および蔵書点検による臨時休館について

このコーナーに対するご意見等は、高島市教育委員会事務局教育総務課 ☎(32) 1132 までお気軽にお問い合わせください

高島市子育て研修事業

子育て講演会 子育てで悩んでいませんか…?

- ◎ 日時 11月29日(土) 10時～12時
- ◎ 場所 安曇川公民館
- ◎ 参加費 無料
- ◎ 対象者 未就園児・保育園・幼稚園・小中学校の保護者など
- ◎ 託児 有り(定員40人 未就園児のみ 事前予約必要)

講師 子ども家庭教育フォーラム 代表 富田 富士也さん



若者たちの「引きこもり」「虐待」「自殺」や、不登校、いじめなど対人関係の悩みに対して、人権の視点をもって取り組む教育心理カウンセラー。人間関係に悩む若者たちとの相談活動を通してネーミングした「引きこもり」は、時代のキーワードとして反響を呼んでいます。

現在、幼児・家庭教育にも関心を深め、自己肯定感、自尊感情の獲得について、世代や立場をこえて語っておられます。

子どものインフルエンザ予防接種費用を助成します

- ◎ 対象者 市民税非課税世帯のひとり親家庭の児童(中学校修了まで)
- ◎ 助成額 上限3,500円(接種費用額)
- ◎ 申請受付期間 11月4日(土)～2月27日(金)
- ◎ 持ち物 印鑑・領収書・母子手帳(接種内容を記録されたもの)、通帳コピー
- ◎ 手続き 医療機関でインフルエンザの予防接種後、各保健センター(朽木は朽木支所)または子育て支援課へ申請してください。

子育て支援課 ☎(25) 8136 子ども家庭相談課 ☎(25) 8517



「オレンジリボンキャンペーン」

オレンジリボンには「子ども虐待防止」というメッセージが込められています。11月1日(土)から、市役所正面玄関ロビーにツリーを設置します。来庁の際は、オレンジ色のメッセージカードやリボンを飾りつけていただきオレンジリボンツリーの完成にぜひご協力をお願いします。

「11/12～25は女性に対する暴力をなくす運動週間です」

子どもを虐待から守るための5か条

- ① 「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告) 通告は義務＝権利
- ② 「しつけのつもり」は言い訳 子どもの立場で判断
- ③ ひとりで抱え込まない あなたにできることから即実行
- ④ 親の立場より子どもの立場 子どもの命が最優先
- ⑤ 虐待はあなたの周りでも起きている 特別なことではない

通告・相談先

- 子ども家庭相談課 または市内各保健センター
- 虐待ホットライン(24時間対応) ☎077(562)8996

この月間では、子ども虐待防止についての理解を深め、子どもを守るための啓発活動が全国的に行われます。

11月は 児童虐待防止推進月間です

『ためらわず知らせてつなぐ命の綱』